



今年は紅葉がいっそうきれいですね



主な内容

-
- 2～3……………青年部の取組み
 - 4……………農協法公布記念日にあたって
 - 5……………熟年会秋季研修旅行
 - 6～7……………女性部、食品加工交流部会関連
 - 8～9……………未来を拓く若者 乾元樹くん(依橋)
 - 10……………研修報告～(御谷口農場(旭川)
 - 11……………IDOL 板橋勇輝くん(俣落)
 - 12……………普及の窓 ～初乳の効能は？
 - 13……………理事会報告
 - 14～15……………10月組合動静・掲示板・報徳の教え
-

地域活性化に向けてHPを 消費者とつながる道具に

JA中標津青年部(鷺見健部長)が主催したIT(WEB)活用術セミナーが10月8日、9日に中標津町内で開かれ、管内の農業者や商工団体関係者、町職員など2日間で約70人の参加者が、地域活性化に向けてのIT(WEB)活用事例などを学び、全国各地で利用されているホームページ(以下HP)の位置付けやHPの制作などを学びました。



一般の参加者に青年部員が教えるひと幕も



講師は、日本農業新聞などでもIT関連の情報ページで紹介されている、愛媛県在住で果樹観光農園を営む実家を手伝いながら、WEB活用によりPRすることで、各地の消費者をお客さんに持ち、農家の要望があれば全国各地でHPの開設や運用・保守などを農家自身の手で行えるよ

う指導するプランナーの竹森まりえ氏。
JA中標津青年部でも昨年立ちあげたHPの更新がおろそかになっており、リニューアルと青年部の手で更新が行えるように計画していることから、その前線で活躍する方を講師に招くことで、自分たちのレベル

アップを図るために企画。青年部主催で根室管内地域の活性化を図るための講演会や、セミナーなどを開催することも初めての試みであり、主催者代表として部長を始めとする役員が、一般の消費者や農業関係者などの前で前段の挨拶をするにも、運営側として大変勉強になりました。

講演会では、実際に全国の農家を訪れ、ホームページステイしながら制作したHPなどを紹介し、



町立病院のHP担当者から質問も

消費者とつながるための道具としての有効性と魅力ある地域を表現するための手法。作ってからの本場の勝負となるHPサイトの厳しさなども紹介、午後からの実践研修では実際にPCを操作しながら、HP作成ソフトを使用して受講者が個々のWEBサイトを作り、サーバーにアップロードするまでを学び、実際に体験

青年部ロールパックメッセージPR

J A 中標津青年部(鷺見健部長)のPR委員会などが主体となり、今年も牧草ロールパックをキヤンバスにした農業メッセージを描いたオブジェを、10月15日より開陽台付近に設置し、街道を通る通行車両などにPRしていきます。

今年度は、アテネオリンピックで感動を呼んだ水泳競技者の勝利の雄叫びをもじったもの。「牛乳のんで、腸気持ちE」部員の大半が酪農家であるため、牛乳についてのことを大々的にPRすることとしました。

ロールを3段階みするトラクターテクニックと、ロールという曲面のものに文字や絵を描く難度。青年部のHP掲示板などで募集した言葉にもひねりがあり、牛乳の機能性をうまく表現した力作に仕上がっています。

根室地区J A 青年部連絡協議会による看板大会では昨年、一昨年と一番に輝いているので、今年度もガンバって三連覇を目指せということで、さらに工夫があります。

開陽台に設置されている望遠鏡からこのロールパックを眺めると、裏側にある文字が見えるという寸法。

「部員約20人による力作です。中標津町の協力を得て開陽台にポスターを掲示させてもらっており、裏側のメッセージの内容については、是非自分の眼で確認してみてください」(鈴木祥嗣PR委員長)。

ということで、町内への誘導呼び込み、地域活性化と牛乳のPRを兼ねて下記のキャンペーンを開催します。

◆応募要領◆メッセージの裏側の面を開陽台から撮影し、下記住所までJ A 中標津青年部宛

付で写真作品を送付して下さい。

①撮影月日が写真に写っていること②撮影は一眼レフカメラ、デジタルカメラ、ポケットカメラ問いません③

応募資格 Ⅱ 年齢性別・町内外

からの参加不問

④募集締切は平成17年1月31日

※ロールパック

の設置してある草地は、個人の土地なので無断で入らないで下さい。

抽選で牛乳などの特産品をプレゼントいたします。奮って

ご応募下さい。

◆応募先 Ⅱ

中標津町東7条南2丁目1番地

J A 中標津青年部宛



ミニサッカーで支部交流

練習は力! 当幌支部初優勝を飾る

J A 青年部は組織強化委員会主催のミニサッカー大会を25日、町営体育館で開き、支部員を含む35人が参加。寒さが冷え込む体育館で汗をかくほど奮闘し、参加者の交流を深めました。

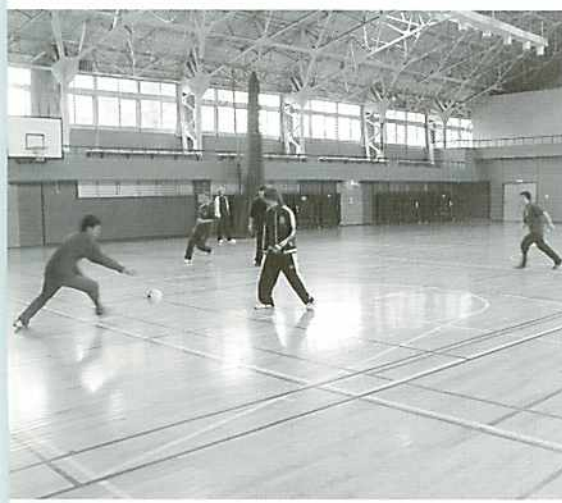
今年度は、役員チームでの参加をなくし、5支部による総当たり対抗戦で開催。5分ハーフ、合計10分の試合で、途中バテバテになる選手も見られましたが、華麗な脚捌きでゴールを決める選手が多数見られ、逆にナイスセーブするキーパーの活躍もありました。

中には、事前に練習を積んできた支部もあり、選手層の厚さと練習量で当幌チームが3勝1分けで得失点差の初優勝を飾りました。

リベンジに燃える各選手や支部からは、2ndステージの開催をと言う意見も聞かれ、1月に開催される運びとなります。

支部の順位、優秀選手表彰は以下の通り。

▼優勝 Ⅱ 当幌支部、2位 Ⅱ 依橋支部、3位 Ⅱ 俣落支部、4位 Ⅱ 開陽支部、5位 Ⅱ 武佐支部。優秀選手(得点王) Ⅱ 全4ゴールを決めた林友也選手(当幌支部所属)





農協法公布記念日 にあたって

北海道農業協同組合中央会会長 宮田 勇

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され、57年目を迎えました。

当時、日本全土は荒廃し、戦争の傷跡が生々しい状況の中で国民への食料が不足し、食料確保の必要性と併せて農民の自主的立場を確保するため農村の民主化が最重要課題でありました。

このような時代背景の中から農協法が誕生し、全国各地で農協が設立され、現在に至っております。農協は農地改革によって生まれた自作農を基本とした「農民の農民による農民のための」組織として、人々が連帯し助け合うことを意味する「相互扶助」の精神のもとに組合員の農業経営と生活を守り、より良い地域社会を築くことを目的とした協同組合

です。

農協法が制定されて以来、経済情勢や社会環境の変化に合わせて農協の事業展開や組織運営手法の変革が求められ、時代に即した改正によって組合員の社会的、経済的地位の向上に大きな役割を果たしてきました。

今、私たちは21世紀の初頭を歩んでいます。世界に目を向けますと飢餓・貧困、食糧問題など、いまだに解決の糸口を見いだせない状況にあります。また地球温暖化や環境問題も深刻化しています。このような将来に向けてきわめて重要な問題に対し、人と人との結びつきによる協同組合組織である私たちは、組合員としっかり結び合い、消費者である道民と連携し、取り組んでいくことが求められています。特に食料と貿

易の問題についてはWTO交渉において先進国と途上国が激しく対立していますが、貧困の解消と多様な農業の共存を基本とする貿易ルールの確立が必要です。本年は「第24回JA北海道大会」決議事項の実践2年度にあたります。私たちは地域のJAが地域農業振興の司令塔としての役割を發揮し、食と農の連携を重視し地域住民に信頼されるJAを目指してまいります。今後もWTO農業交渉など厳しい農業情勢が予測されますが、組合員、役員皆様が農協法の存在意義を再確認して、組合員の営農と生活を守り、JAが充実した組織として益々発展するよう共に頑張りましょう。

恒例となりました熟年会の秋季研修旅行が10月5日から8日の日程で行われました。参加者の中から開陽の小塩美代子さんにお願ひし、旅行記を書いていただきますので紹介致します。



初秋の紅葉はまだ進んでいなく、青く澄み切った空より優しい風がそつと頬に伝わる、良い季節に、秋の道内旅行10月5日～8日まで3泊4日で46人の会員の方達と農協前を午前8時、2台のバスに便乗し出発しました。

石北峠手前のキツネ村で昼食をとりました。この施設では、いろいろな種類のキツネがおり、また、タヌキもいて珍しい動物との出合いでした。昼食後、石北峠を通過す

な芸に感動。ヒヨウの親子も大きく恐ろしい、ペンギン館では目の前を泳ぐかわいいペンギンに感激しました。この他にも多くの動物がそれぞれ見せ場を作っていました。旭山動物園を後に宿泊地留萌へと出発しました。

道庁視察にも感激

開陽 小塩美代子

秋の道内、見て、食べて、呑んで

る時には、見事な紅葉で山並みも油絵で描いたような言い表しようのない素晴らしい景観でした。

バスを走らせ最初の見学地、日本一の旭山動物園へ到着すると早速、見学を始め、巨体のホッキョク熊が高い所より水槽にジャンプを何回も繰り返し、餌を捕らえてパクつき、また、アザラシの見事

2日目は、オロロンラインを南下して、國稀酒造を見学し試飲のシソ焼酎・ワイン・お酒をいただき、皆さんほろ酔い気分でにぎやかな雰囲気となりました。次の見学地、雄冬岬で展望台へ皆さんと登り、下界の絶景を一望して感動しました。

雄冬岬を後に、札幌へ向かい旧北海道庁舎前で、中司道議が出迎えてくださり、記念写真撮影後、庁舎内を見学し前知事の写真がずらりと並び、長い北海道の歴史が刻まれている事を知らされました。また、中司道議の案内で道議会本会議場へと入り、私たち議員になったつもりで議

席に座らせていただき、座り心地が良く感激致しました。道議のご配慮で一生の思い出となりました。

3日目は、余市の宇宙記念館を見学。続いて、ニッカウキスキー工場を見学、工場内はウイスキーの醗酵する香ばしい匂いに酔いました。見学先を小樽へ移動し、北一硝子でのショッピンは、目を見る物が多く、高価な芸術品から、日常使われる物まで鮮やかな硝子製品が展示さ

れていました。北一硝子を後に石原裕次郎記念館へ、懐かしい映画や遺品等展示され30年前に戻った思いにさせられました。見学後は、宿泊先の定山溪へ景観を楽しみながら1時間の旅でした。ホテルでは地元の大鼓・民謡ショーを楽しみながら最後の夜を過ごしました。

4日目は、長沼町での果物狩りで、とても美味しいリングオに出会い楽しいひと時でした。日高で昼食の後は、一路中標津へ3泊4日の旅の思いを抱えて帰路に着きました。全員が元気で仲良く楽しい旅行をさせていただきました。ありがとうございます。

**女性部
スポーツ
交流会**

爽やかに！楽しく汗を！

●室内ミニテニスを開催

仕事とは違う爽快な汗を流そうということで、女性部のスポーツ交流会が10月6日、中標津町体育館で開催されました。



汗を流した後の笑顔は…爽やかですね！

これまで、パークゴルフが女性部行事の定番でありましたが、参加する顔触れがいつも同じであったため、新しいスポーツを行おうと役員会で決めたもので、当日は室内ミニテニスを行いました。パドミントンのコ

ートと低くしたネットを利用しミニテニス専用ボール（小さいビーチボールのようなもの）で早速開始。以外や以外！フォームもすっかり慣れて、昔慣らした？と、言わんばかりの上級者が思いがけず多く、ダブルスでチームを組み替えながら、コートから端まで駆け回り、新しいジャージに穴があくほど必死にボールを追いかけて、楽しい交流会となりました。

他町村では、老若男女、運動神経の有無を問わずできるということで、親しまれているこのミニテニス。ミニバレーほど、飛んだり跳ねたりなどの激しい動きはないので、だれでも楽しくできるため、今回、参加者が少なかつたのがとても残念だと、楽しさを知ってしまった参加者は口にししており、終始、爽やかな汗を流し楽しい時間を過ごしました。あまりの楽しさに、スポーツ店で早速ボールを購入した部員もいるように、女性部員の間で密かなブームを呼び起こしそうです。

食品加工交流部会は、「クレエまつり」と称した、消費者交流会を10月16日、JA中標津農業農村交流施設にて開きました。

交流施設の見学開放と地場農畜産物を使った加工品の販売、農業者である部会員と消費者との交流を兼ねて企画されたこの「クレエまつり」。初めてのことで全く手探りの中で開催されたので、誰にどの位どうやって宣伝すればよいのか、いったいどのくらいの反応があるのか、どのくらい作ればよいのか、などなど部会員で度々の会議、試行錯誤しながらの開催でした。

さて、2日間にわたる準備を終え、いよいよ当日を迎えて、

「いったいお客さんは来るのだろうか？」と、心配しながらも、加工品を買い求める人や、アイスクリームの加工体験を楽しむ親子など、ぼつりぼつりと来客があり、昼時間には賑わった感を若干つかめました。しかし、販売品目全てを完売するところまではいかず、部会員自らが企画実施したこの「クレエまつり」は、部会員それぞれが今後の活動を考える場として、



アイスクリームの加工体験と試食を楽しむ親子

とても貴重な機会となりました。今後も「クレエまつり」は継続していく予定です。地域住民に周知され定着するまでには、まだまだ時間がかかりそうですが、農業というものを「食」を通した中で、広く地域住民に理解を求め、また、手作りの良さ・おいしさを追求していく姿勢は、部会員一同変わらずに活動をしていくつもりですので、今後の活動にご期待下さい。

**食品
加工部
交流会**

**地場農畜産物を使った加工品
で販売・交流**

●「クレエまつり」

「託児付き」という言葉に惹かれて

●根室地区フレッシュユミズ研修会

10月25、26日、阿寒湖温泉にて根室地区フレッシュユミズ研修会が開催されました。「託児付き」という言葉に惹かれて(何てヨコシマな!)この度、初めて根室地区フレッシュユミズ研修会に参加しました。

阿寒のホテルに着くまでの車中、研修に参加する大人の数よりも同行する子供の数の方が多いので、完全にハイキング状態です。

ホテルに着いて、すぐ子供を預け、私はスピードスケートの元オリンピック選手・森野志保(旧姓・楠瀬)さんの「キラリ・輝く女性を目指して」という講演会に参加しました。正直、この題目からするとあまり期待していなかったのですが(すみません!)、不覚にも涙ぐんでしまうほど素敵なお話で、私もこれからの人生に向けて何かを始めたいなど、とてもやる気が出てきました。

講演終了後も、森野さんによるタオルやボールを使ったりフレッシュシユ体操が行われ、とても気持ち良くそして楽しく、終了後には中標津の参加者全員で森野さんに駆け寄り、いろいろなアドバイスマで頂きました。何かを達成した人の「輝き」というものを十二分に感じた機会でした。そして子供をお願いしたままでの夕食会!

それはそれは盛り上がり、普段あまり接する機会のない他JA部員の方々と、ご主人との馴れ初めなどを聴いたりして(笑)。夜、部屋に戻ってからも、子



タオルを使って自宅でも簡単にできるリフレッシュ体操

供を寝かせた後、普段は仕事を始めるような時間まで語り合っていました。

2日目は、眠い目をこすりながら「家の光 読み聞かせのすすめ」「飲んで健康 緑茶の効用」、飛び入りでお米に関する講座、とても生活に役立つ項目でした。年代的に小さい子供がいて、なかなか普段参加を渋ってしまいがちなフレッシュユミズ部員に、参加しやすいよう気遣って下さった事務局の方々に大変感謝しています。できれば来年も参加できたらと思っています。今回は本当にありがとうございました。

▼依橋 本多 みか

根室地区女性部研修会が10月28日寿宴にて開催され、会場には管内女性部員が100人ほど集まり、久しぶりにゆつくり講演を聞くことができると、心ワクワクして家を出ました。

今回の研修会の講演・講師であります

北海道農業担い手育成センター・片山寿美子氏の活力ある、ユーモア溢れる絶妙な語り口に、みな引き込まれて、笑いあわせました。何しろ、普段言いたくても言えない心のモヤモヤを代弁して下さった様で、とても気持ちがつつきりしました。



片山氏の絶妙な語り口に会場はみな引き込まれます

これからの農村女性は、元気に働き、家族を支え、多くの仲間達と語り合い、交わり、全国女性協議会の「かわろう・かえよう宣言」のように前向きにいきましょうと話されました。なかなか「忙しい」という言葉に追われてしまう毎日ですが、「できない」を「できるかも」と、一歩夢に向かってJ A女性部員ひとり一人が声を掛け合って更に大きな輪に広がっていくといいなと思いました。貴重な研修会に参加させていただきましてありがとうございました。▼俣落 小出 公子

できない...を、できるかも...へ、と一歩夢に向かって!

●根室地区女性部研修会

マジメさ 律儀さを生かして

今月の明日を拓く若者は、青年部俵橋支部の乾元樹君です。2カ月連続で俵橋地区青年となりますが、層の厚い俵橋支部。前出の金子君とは、また違った雰囲気です。青年部支部活動、本部活動を盛り立てている若き後継者です。

「ただでは？」との見解。「マジメだけが本当の自分ではないのですヨ」と強調します。この取材の前々日に、青年部のミニサッカー大会打ち上げを支部で開き、ひどく盛り上がり、予想外にお酒に吞まれてしまったことも…。

昨年12月号のEggs Quality Milk宣言では、4月に戻ったばかりで酪農1年生といっても過言ではないとの思いでしたが、2年目となった今年は、宣言を実行するような取り組みで、約1年間で乗り越えてきました。

青年部の勉強会にも積極的に参加、乳質向上に向けて体細胞、生菌数に対して気を配っています。

牛舎新設の計画は、現在進行形で、祖父、父、母と一緒に牛舎の建設施工に携わっています。このため、今年の環境共励は、なにも手を付けることが出来ずに「勝手に見ていって〜」という状況で、散々な状況だったのですと振り返ります。

青年ヘルパーの活動も今年が多忙なためになかなか出ることが出来ませんが、ファクスでの稼働依頼に対して1回、1回、律儀にメールを返信してくれま

へと仕事に移っていくため忙しさを増しますが、これからもマジメな気質で様々なことを吸収していくことでしょう。

守夫氏(81歳)を筆頭に 三世代で牛舎を 建造

「元樹君、今何やってるの？」携帯電話の向こうの元樹君は「今、コンクリの練り込み中です」。「今、落陽を屋根に貼っています」など日中に電話を掛けると、おおよそ酪農家のお兄ちゃんからは普段聞き慣れない言葉が飛び出します。

俵橋の乾雅晴さんで建設中の牛舎は、3世代に渡って技術を引き継ぐ場であり、雅晴さんの父である守夫さんから孫の元樹君へも心意気を繋ぐ架け橋になっています。親子3代で牛舎を造っているこ

いぬい もと き
俵橋地区 乾 元樹 さん



「パーソナルデータ」
乾雅晴さん、和嘉子さんの
長男。24歳。
妹1人。祖父、祖母。

乾君を知る人は、口々にマジメであると評価します。しかし、本人曰く、比較対照となることの多い金子君が大物すぎて自分がマジメに写る



昭和32年建設の牛舎、その後、守夫氏が増築した

屋根の上の親子3代

とに対して、なぜ? という疑問を投げかけられたらー。

まず、雅晴氏の父守夫氏に大工っ気があることに尽きます。昭和32年にキング式の牛舎を建設。こちらは、あらかたプロの大工さんが建てたものですが、守夫氏が昭和44年、昭和47年に左右に延ばして、さらに最近、若干手を加えて、現在使用中の牛舎



周辺のたたずまいになっています。その後も、自宅を建て増し改装したり、親戚の家を造ったりと息子さんである雅晴氏と大工仕事をこなしてきました。

雅晴氏は、「親子3代怠け者」と笑います。自分たちで建てるということは建築で一番コストを削減できる労賃、ひいては投資を抑えられるということ。

このことは、必要以上に多頭化して大規模搾乳を行う必然性がなく、楽しみながら仕事の出来る範囲で営農が出来ることにも繋がっていきま



す。
昨年の9月。雅晴氏が地区理事と出掛けた厚岸から

の帰り、「後継者として元樹君も戻ったし、フリースツール化などを考えていないなら、自分たちで建てるというのはどうか」という意見があり、守夫氏がやってみるかとなったことが発端。計画から実行が早く、守夫氏は翌日には図面を引きはじめ「やろうか?」が「やるよ!」になっ

ていました。

守夫氏はこう言います。「孫の元樹に牛舎を造る仕事をやって見せようということも動機の一つ。鉄板を折ったり、屋根鉄板を貼ったり。ここまでする農家は少なくなつた。飼養頭数の増加により時間的な余裕が無くなつ

たこと。自分は大工の仕事を見て覚えた。職人さんが不馴れな自分にいらだち、げんのうが飛んできたりもした。最初は、あまり高い場所が得意ではない元樹君の腰付きを見て、物になるかな?と守夫氏も雅晴氏も思ったそうです。でも、馴れというのはすごいもの。

今ではスイスイ。「馴れるまでは、結構怒られました。」とは元樹君。

また、自分たちで建てることのメリットは、当初7軒だった牛舎幅を現場で8軒に変更する。というように自在であることなどにもあげられます。その代わり、予定していた屋根鉄板よりも多く材料が必要になり当初の数量では不足するため、今後鉄板折り作業が待っていること。ちよつと気は早いかも知れませんが、牛舎工事が終わった後は、元樹君の住む家の建設など、まだまだ仕事がいっぱいです。きっと次の代、その次の代へも守夫氏の心意気が伝わっていくのではないのでしょうか。



長い目で見て計画し、育てていくことは大切なこと。このことは、40年も前に、今回、牛舎建築の木材に使った唐松を四角く植林して備えていたから活用できたことから伺えます



社団法人日本アグリビジネスセンターが主催する、アグリベンチャー人材養成講座のアグリビジネススクールの2004年度セミナーが8月末開講され、受講させていたいただきました。農業・農村における創意工夫次第で大きな可能性を秘める資源（人、農地、水、景観）を生かして、農業生産に加工・流通・サービス産業などを取り込み、既存の商品群に付加価値を高めた農業を展開する核となる「ひと」を育てる講座です。同団体と当農協



トマトハウスで参加者に説明する谷口社長

の関連では、農業農村交流施設や利用組合・農協が取得した農業機械を導入した経営構造対策事業の活用推進母体であり、新種のアグリビジネスも計画しだいで、経営構造対策事業で取り組んでいくことが出来ます。実地研修先となった旭川の(有)谷口農場（代表取締役社長谷口威裕）について紹介します。

生産、加工、販売し 付加価値を高める

旭川
(有)谷口農場

(有)谷口農場は父親の代から有限化しています。道内最初の農業生産法人。現社長の谷口氏は絶妙なバランスで主にトマト生産とジュース加工・缶詰工場、肥料製造工場、農場キッチン、直売所を経営しています。生産した野菜を加工することで付加価値を高めて、社員の教育と共に自分たちで農場通信や、消費者が農業体験できる取り組みも行っていきます。10月8日、9日に行われた青年部主催の講演会講師を行った竹森まりえ氏は、(有)谷口農場のホームページ（以下HP）立ちあげの時にプランナーとして参加しており、現在は谷口農場の職員がHPを運営、更新作業も進めています。



工場での加工を待つ真っ赤に熟れたトマト

法人化したのが、自分の息子を跡継ぎにしたい気持ちがあっても、そのような人材に育たなければ別の人が経営を行うことも考えられる。現在は社員として、現場でトラクターなどに乗って作業することが好きなように、そのような作業にあたっている。

料理人として街に出ている娘は、アトピーが酷くなっていた。旭川に帰ってきたら治るので、田舎が合うように、(有)谷口農場で働いている。農場キッチンを担当させることで、うまく後継者困り込み作戦が成功しているとのこと。先代が有限化したのも、後継者困り込み作戦の1つだ

ったのではないかと思う。

トマト缶ジュースの爆発的な売れ行きと、それに対する売り掛け回収や契約などをしっかりと行っていないなかった時期に、多くの負債を抱えてしまったこともありましたが、知恵と複合展開、従業員・家族との力強い絆で乗り越えてきた(有)谷口農場、活動の詳細はHPでも確認できますが、旭川へ行く機会があれば実際に訪れてみてはいかがでしょうか。

<http://www.tomatofarm.co.jp/>



同農場の過去、現在そして未来へとつなぐ石碑



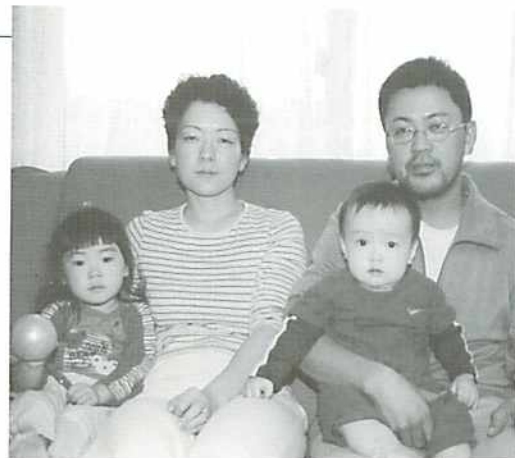
肥料製造工場



農場キッチン「赤とんぼ」

アイドル IDOL

食欲旺盛…好き嫌いなんかない 元気印の勇輝くん!



家族4人でハイ・ポーズ



木々の枯れ葉も落ちて山々がうっすら白くなってきた今月の人気者は、
侯落地区・板橋匠さん宅長男・勇輝くんです。

まだちよつぱり人見知りする感じの勇輝くんは、ママの肩に顔をうずめながらのお出迎え。時間が経つとすぐに慣れてきて早速行動開始。ママ曰く意外にビビリやさんな面もあ

ったりだけど、一人歩きも最近やつと歩数が増え、行動範囲もかなり広がりが元気印の勇輝くん。食欲も旺盛で、お姉ちゃんの楓ちゃんが嫌いだというピーマンでもなんでも好き嫌

いなく食べ、食べ
る量もかなりとか。

最近の勇輝くんのお気に入りには、音の出るおもちゃと滑り台。ボタンを押すと音の鳴る絵本やキーボードなど、首を振りながら聞いたり、一人で登って滑ることができるようになったせいか、お家の中の滑り台はもちろん、公園の滑り台を見つけると目を輝かせて遊ぶんだって。

普段、お姉ちゃんと一緒に遊んでいる時間が今は多いけれど、来月か

板橋 勇輝くん

いたばし ゆうき くん
2003年9月28生
板橋匠・千鶴さんの長男と
して生まれる



らお姉ちゃんが保育園に通い出して遊ぶ時間が少なくなると、ちよつぱり寂しくなるのかな？

お姉ちゃんのおもちゃを奪って怒られて、泣きべそさんになっても、お姉ちゃんと遊ぶのが好きなのだとか。

さて、そんな勇輝くんのこれからについてパパとママに尋ねると、パパは「一緒に仕事してくれるのかな？」、ママは「自分で好きな事を見つけ、それに(目標)向けて進んで欲しいな」と、それぞれお答えいただき、勇輝くんのこれからに託す家族みんなの想いは熱いようです。

目標と勇気をもてる人には、光り輝く人生が待っているはず。がんばれ勇輝くん！ 期待しているよ。

普及の窓

初乳の効能は？

十分な免疫グロブリンを
与えていますか

北根室地区農業改良普及センター

初乳について

産まれたばかりの子牛は病原体に
対する抵抗力が弱いため様々な病気に
なる可能性が高くなります。

初乳を正しく給与することで免疫
グロブリンが子牛に確実に伝達され、
下痢等の病気の発生を少なくするこ
とができます。

初乳の比重を測る

初乳の免疫グロブリン濃度は比重
計を使って簡単に知ることができま
す（初乳の比重を測る時には初乳の

温度が20℃の条件でおこないます）。
一般的に初乳のグロブリン濃度は初
産牛よりも経産牛の方が高くなりま
す。
十分な免疫グロブリンが初乳に含
まれている比重の目安は、〇・五以
上です。また、初乳の比重が低い牛
は乾乳期の栄養管理に問題がある場
合も考えられます。

図1にA牧場の初乳の比重の計測
値を示しました。

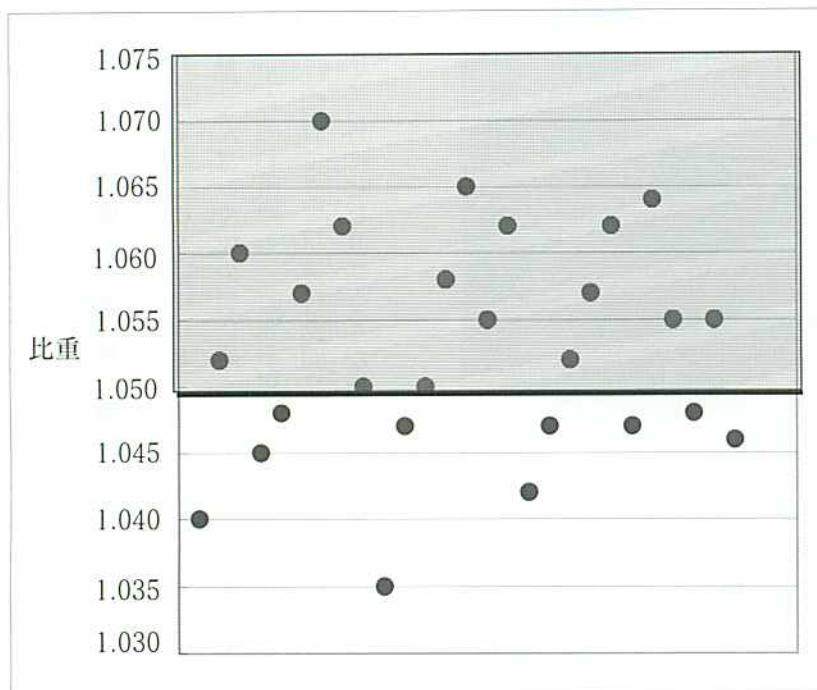


図1 A牧場の初乳の比重の計測値

初乳の給与

A牧場では比重が一・〇五に満
たない初乳が約40%であり、十分
な免疫グロブリンが含まれている
初乳は思ったより少ないことが分
かります。この場合は市販の「初
乳パウダー」などを利用するか、
あらかじめ比重の高い初乳を凍結
保存しておく必要があります。

初乳の給
与は原則と
して分娩後、
できるだけ
早い時期に
おこないま
す。子牛の
腸管からの
初乳の免疫
抗体の吸収
率は時間の
経過とともに
低下する
からです。
しかし、出
生直後の子
牛の第四胃
内には2か
ら3リット

ルの羊水が含まれており、この羊水
が残っている間に初乳を給与しても
十分な免疫抗体を吸収させることが
できません。初乳給与の適期は子牛
が哺乳意欲を示した時です。正常分
娩で生まれた子牛なら出生後30分か
ら2時間くらいで哺乳行動をおこし
ます。この時期を逃さずに初乳の給
与を行いましょう。

初乳の給与量

子牛が十分な抗体を持つためには
少なくとも一〇〇gの免疫グロブリン
(できれば二〇〇g)を初乳から
得る必要があります。そのためには
比重が一・〇五以上の初乳を2リッ
トル給与することが必要です。分娩
後2時間以内に2リットル、12時間
以内に更に2リットルの初乳を給与
します。

初乳の比重を測ることで子牛の下
痢を予防したり、乾乳期の栄養状態
を知ること、その後の対処が速やか
にできたりと多くのメリットがあ
ります。初乳の比重計測を習慣づけ
ましょう。

第6回 理事会 の 経過報告

日時 平成16年10月29日（金）
場所 J A 中標津 中会議室

◆決議事項◆

- 1・平成16年度9月末予算統制計画について
- 2・職員組合からの要求について
- 3・組合員の出資持分譲渡について
- 4・平成16年度余裕金運用方針及びリスク管理方針の決定について
- 5・J A コンプライアンス・リスク管理方針の改訂について
- 6・貸出審査部署の設置に伴う職制規程の改定について
- 7・共済会退職給付金に係る職員就業規則の改定について
- 8・共済会退職給付金に係る退職給与規程の改定について
- 9・第4次電算システム機器導入に係るリース契約について
- 10・資材課フォークリフト他リース

物件の導入について

- 11・各種資金の借入申込みについて
- 12・平成17年度営農計画作成要領について
- 13・資源リサイクル事業自己負担の徴収について
- 14・農協有家畜排せつ物運搬機械の追加導入について
- 15・発情発見システム事業実施について
- 16・家族経営協議について
- 17・堆肥舎（防雪、防風、防水）のネット取りまとめについて
- 18・酪農ヘルパー要員の宿舍取得について
- 19・平成17年度 道営畑地帯総合土地改良事業の実施について
- 20・平成16年度6月末定例自治監査の結果と回答について

◆報告事項◆

- 1・平成16年度9月末金融・共済事業概要について
- 2・平成16年度9月末購買事業概要について
- 3・平成16年度9月末生活店舗事業概要について
- 4・組合員の加入及び脱退の状況について

5・平成16年度上半期「J A の経営状況に関する事項の報告（モニターリング）」について

- 6・J A 共済コンプライアンス点検結果について
- 7・内部審査の実施報告について
- 8・クミカン振替に係る取扱について
- 9・第4次電算システム移行確定に係る財務諸表の変更について
- 10・J A O C 事業への参画について
- 11・購買未収金の回収状況について
- 12・北海道ホルスタインナショナルショウについて
- 13・台風被害について
- 14・生乳生産状況「High Quality」
- 15・畜産環境衛生改善調査結果について
- 16・飼養衛生管理基準の制定について
- 17・平成16年度 北海道酪農体質強化対策事業の実施について
- 18・乳製品工場の進捗状況について
- 19・平成17年産畑作物（澁粉馬鈴薯・てん菜）の価格決定について
- 20・澁源馬鈴薯出荷状況並びに第2次出荷契約数について
- 21・平成16年度大根・ブロッコリー

出荷報告について
22・販売事業の進捗状況について

JAの家庭雑誌 **家の光**

読み物の充実

- 家族のかたち
- 立松和平の元気探訪
- J A 女性組織「かわろう、かえよう」
- ぶらり旅気分 など

12月号付録「家の光家計簿」
1月号付録「お料理カレンダー」

創刊80周年を記念して、12月号から誌面を刷新
より美しく、より読みやすく、より使いやすく。A4判とより大きく
いま知りたい・すぐ役立つ記事、わくわくし元気が出る記事が増大
家庭園芸 / 土と作物のサイエンス / 緑の便利帳 / 畑から4分クッキング / ハンドメイド / こんな介護
タイトル、内容等は変更することもあります。

定 価	普通月号	600円
	付録号(1・4・5・7・9月号)	880円
	家計簿付き12月号	980円

お申し込み
受付中



10月の組合動静

- 1日(金)…食品加工交流部会衛生研修会
酪対会長杯パークゴルフ大会
- 2日(土)…青年部親子農業体験事業
- 3日(日)…養老牛紅葉まつり
- 5日(火)…大阪天王寺高校ファームステイ～7日
熟年会秋季研修旅行～8日
- 6日(水)…ルーキーズカレッジ
女性部スポーツ交流会 (町体育館)
- 7日(木)…小学生農家見学=丸山小学校
(安田稔牧場)
- 8日(金)…青年部HP活用術セミナー～9日
(なかまっぷ他)
CDP研究会2番草精算会議
- 9日(土)…あるる創業祭～11日
- 12日(火)…巡回ドック2次検査
子牛共済引受説明会
職員組合納涼祭
- 13日(水)…ルーキーズカレッジ
根室地区青年部連絡協議会移動役員会
青年部PR委員会
- 14日(木)…1日皆貯金～15日
- 16日(土)…クレエまつり
- 20日(水)…ルーキーズカレッジ
APEX利用組合精算会議
道営草地事業打合せ
- 21日(木)…第4回企画会議
年金相談会
NSH利用組合精算会議
- 22日(金)…ファム・エイ監査
メガフロンティア精算会議
- 24日(日)…資格認定試験 (初級)
- 25日(月)…第1回管理購買委員会
青年部ミニサッカー大会(町体育館)
JA根室地区フレッシュミズ研修会～26日 (阿寒)
消費者向けPR誌編集会議
- 26日(火)…第4回営農委員会
労働保険事務組合監査
- 27日(水)…第3回生産委員会
乳牛改良同志会勉強会
- 28日(木)…新採用職員筆記試験
ルーキーズカレッジ
JA根室地区女性部研修会(寿宴)
青年部役員会
- 29日(金)…第6回理事会

酪農実習生の交流会

秋晴れの10月19日、酪農実習生相互の連携強化を目的とした交流会が開催されました。



参加した実習生11人は、標津サーモンパークを見学。初めて見るサケの遡上する姿はかわいそうなくらい体がボロボロになっても遡上を繰り返し、命の連鎖のすごさに感激して見えました。
サーモンパークを後にした一行は

青年部俣落支部主催のソフトボール大会

青年部俣落支部主催の親睦ソフトボール大会が10日、台風前の微妙な天候の中で開かれ、約20人の参加者が、爽やかな汗を流しました。
例年、部落対抗で分かれて行っていますが、参加選手不足により急遽、年

武佐の安達釣り堀センターへ。到着すると早速釣り竿を手に取り、初めての人から、釣りは任せておけと言う人まで思い思いに糸を垂らし、釣れては大歓声のひと時でした。
釣りの後は、釣れた魚を焼いたり、焼肉をしながら日頃の出来事を思い思いに語り合い、鋭気を養う充実した一日となりました。



年齢が偏らないようにA・Bの2チームに分かれて行いました。
結果20対20何というバスケットボールの試合のような点数になるほど乱打戦となり幕を閉じました。
ホームラン数本をかつ飛ばした高橋正和さんがMVPに選ばれました。

ヤギ肉・ヤギ乳を使った町おこし 新商品開発パートナーを募集

町内でヤギ乳の生産販売を行っている乾洋牧場では、ヤギ肉・ヤギ乳を使った商品・食品の開発、飲食店のメニューから地域に貢献する町おこしを図っていけないものかと商品開発をすすめるパートナーを広く募っています。

北海道でこそラム肉が主流であるが、ヤギ肉は、沖縄県などではポピュラーな食材。臭みもなく健康食品としての機能性も備えることから全国からの問い合わせもあるもの。しかし、効果も高いが、肥育して枝肉などにするための加工まで考えると、現在市場に流通している豚や牛などよりもコスト高になっていることがネックな部分でブレイクするまでには至っていません。

加工して、付加価値を高めて販売していきける魅力ある商品群を開発してくれる加工業者や製造業者、飲食店が町内にあればと、肉やヤギ乳も送付し、商品開発のパートナーとして求めています。が、なかなか一緒に「やろう」という声が増えていかないという現状です。

まずは、ということとで道外の業者にヤギ肉ソーセージを試作で作ってもらい、中標津農業高校に商品開発を依頼。ソーセージやハムなどの試作品が誕生しています。また、標津の菓子店からヤギ乳を使った菓子製造についての話しが持ち上がり、近く商品化されることになっています。



季節分婉のため、現状では生のヤギ肉・ヤギ乳を通年供給できる体制にすることは当面出来ないが、消費・流通量が増えればコスト面の引き下げにはなっていくとして、パートナー探しに力が入ります。

安田牧場で 丸山小学校生徒が農家見学

当幌の安田稔牧場で丸山小学校3年生の一行約80人が10月2日、牧場見学を行いました。

今回の丸山小学校は、今年の農協共進会見学を行った生徒さんたちであり、牛との対面は果たしています。パーラー内部の見学と自動哺育機の説明、育成舎と成牛舎を戸外から見、熱心に質問する児童もおりました。



報徳の教え

①

協力＝(財)北海道報徳社

(財)北海道報徳社という二宮尊徳(金次郎)の教えを後世に残していくことを主に、共同、協同のあり方を伝える団体があります。現代農協が農業者、後継者に伝えていかななくてはならない事柄を分かり易く説いてくれていますので、シリーズでご紹介いたします。



共同から協同へ

日本の歴史の夜明け、縄文土器時代には、食料を手に入れるために、獣を追い魚を捕る生活で住居は台地や高地、水辺の限られた場所での生活をしていました。年代とともに川下の肥沃地や低地、平地の海岸線へと住居を移し、移動から定着、狩りから農耕へと変化し、散村型から集村型へと変化していききました。私たちの先祖は、外的から身を守ることなどの目的から共同生活を営んでいました。親・兄弟・親族といった血縁関係によるつながりの共同生活で、土地を共同し、皆で働いて生産したものを共同で消費する血縁関係共同体

から、地域関係共同体へと変化して家族別々のかまどを持つようになりましたが、個人意識は弱く、共同生活の掟に従って、共同体の一員として働くなど長い歴史の中で、さまざまな共同が行われ、生産と生活の両面にわたる相互扶助が発達していききました。

近代では資本主義の発展とともに個人がさまざまな規制、慣習によって全体に従属していた共同体が解体し、古い共同も解きほぐされて、自立した個人が共通の課題を持つ人々と、それを改善・克服するために自由な意思で参加するという、新しい協同へと変化していききました。

きょうどうは人類の歴史とともに培われてきました。今も昔も人間は他人ときょうどうすることなしには、生きていくことが難しいのです。

1・生存をかけた共同

食物を得、外敵から身を守り、自然の害を防ぐために力を合わせたり、開拓の共同や洪水を防ぐための共同作業など生存条件の厳しいころには常に出現した。

2・競争に勝つための協同

自己利益を追求し、他人との競争に勝つため、仲間と協同するようになる。

3・自他両全を目指す協同

人類が到達し得る協同の最高段階で全人類の平和の土台となる。他人を犠牲にせず、他人と共に自己の利益を追求する。

◆11月の行事予定

- 1日(月) …
 2日(火) …役員研修～5日
 3日(水) …
 4日(木) …乳質向上委員会、ルーキーズカレッジ
 5日(金) …
 6日(土) …
 7日(日) …資格認定試験(中級)、青年部商工会
 青年部交流ミニバレー大会
 8日(月) …担い手創出協議会1期生海外研修～
 16日(NZ)、北根室地区農村女性講座
 9日(火) …小学生農家見学＝東小学校(小林茂
 農場)
 10日(水) …ルーキーズカレッジ、小学生農家見
 学＝中標津小学校(高橋正一牧場)
 11日(木) …新採用職員面接、あるる定休日、根
 釧農試酪農講座(農業試験場)、全道女
 性大会～13日
 12日(金) …
 13日(土) …機械利用組合例会
 14日(日) …
 15日(月) …定例自治監査～19日
 16日(火) …
 17日(水) …ルーキーズカレッジ、青年部根室地
 区大会(寿宴)、グリーンアドバイザー
 研修会
 18日(木) …いっぶくの会～19日、農村女性フ
 ェスティバル
 19日(金) …女性部青葉会宿泊研修～20日
 20日(土) …
 21日(日) …資格認定試験(上級)
 22日(月) …
 23日(火) …J C主催ボウリング大会
 24日(水) …ルーキーズカレッジ
 25日(木) …あるる定休日・第5回営農委員会
 26日(金) …女性部フレッシュミズ交流会、関西
 女性との交流会～29日(関西)
 第4回生産委員会
 第2回管理購買委員会
 27日(土) …第7回理事会
 28日(日) …
 29日(月) …
 30日(火) …

タイムスリップ ギャラリー

11

VOL.2



古き良き時代を懐古する。

Q クイズ 10月号の解答

●問題＝10月号表紙のなかしべつの「べ」の文字を彫ったカボチャは、何という銘柄でしょうか？

★ヒント＝形がなにかに似ています。「べ○○○」4文字です。

正解はペレーポ。

正解者の中から抽選で下記の3人を当選者とさせていただきます。

山下智代さん(元開陽)、佐藤とみ子さん(豊岡)、長瀬里美さん(協和)。

◆11月号の問題◆

●問題＝10月に行われた一日皆貯金にご協力いただきまして誠にありがとうございました。今年度は、普通貯金のみの取扱となり、新規口座の開設に対し本人確認するものが必要なため、窓口以外での新規口座への預け入れは出来なくなり不便をおかけしましたが、ご理解いただきありがとうございました。さて、組合員さんへの訪問回収は14日、15日の2日間でしたが、この2日間で集められた貯金総額はいくらだったのでしょうか。一番近い方を正解と致します。

◆応募要領◆ 同アンケート用紙または、紙に答えなどをご記入の上、事務所備え付けの応募箱または、FAXにて経営企画課までご応募ください。